

# 信州 青木村



村勢要覧  
2022



笑顔あふれる村づくり!!

# 明るい!優しい!あったかい! 笑顔あふれる青木村

美しい山々に囲まれた農山村です。長野県の東部、上田市から西方約12kmに位置し、温泉と古塔に象徴される自然と古い文化に恵まれた美しい村です。



*Shiroshu Aoki*

## contents

発刊にあたって	②
村の四季、青木村マップ	③
五島慶太と青木村	⑤
岡石工業地	⑨
村のイベント	⑪
農業	⑬
産業	⑮
村の特産品	⑰
医療・介護・福祉	⑲
教育	⑳
歴史・文化	㉓
安心・安全・消防・防災	㉕
暮らし・生活環境	㉗
行政・議会	㉙、㉚
第6次青木村長期振興計画体系図	㉛
歩み	㉜

# 飛翔

### ■ 村のデータ

面積 57.10km<sup>2</sup>  
人口 4,259人 (令和4年1月31日現在)  
世帯数 1,726世帯

### ■ 村章

「あおき」村の「あ」の字と青木三山を圖案化し、青木村を象徴しています。上部は青木村の三山(夫神岳、子檀嶺岳、十観山)を描き、下部は村民の「和」と結びつきをもとに、躍進する青木村の姿を表現しています。



## 発刊にあたって

遡ること65年、昭和32年3月31日、青木村は浦里村の一部であった当郷地区と合併し、新生青木村としてスタートしました。この65年間、村民・議会・行政・地区・各種団体が一体となりその力の結晶が今日の青木村であります。令和4年度スタートの新たな10か年計画では、村づくり6つの重点プロジェクトを掲げて、「安心・安全」に加えて、「豊かさ・笑顔」があふれる村づくりを進めております。

青木村は、今後国道143号青木峠新バイパス、岡石工業地での東証一部上場企業による新工場、五島慶太未来創造館をプラットフォームとした東急グループなどとの関係人口の拡大など、今後10年間で大きな環境の変化を迎えます。その大きな環境変化を更なる発展のチャンスとして、これまで先祖・先輩が積み上げてきた歴史・文化・伝統に加えて、時代・環境変化に対応した強靱な村づくりを進めて、青木村らしさを活かした自然と産業が融合した、笑顔で豊かな村づくりを積極的に進めてまいります。

この村勢要覧をとおしてみなさんに青木村の様子、村づくりの概要を知っていただき、明るい未来へと思いを馳せていただければ幸いです。

今後とも村政への深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年4月 青木村長 北村 政夫



# 青木村の先人・五島慶太 — その軌跡を未来へ —

# 五島慶太と青木村

青木村の先人、五島(小林)慶太は、東急グループの礎を築いた実業家であるとともに、教育者として次世代の育成に力を注いだ人でもありました。また、若くして故郷を離れ多岐に渡って活躍する一方、生涯を通じて「ふるさと・信州」との関わりを持ち続けてきた人でもあります。

Keita Goto (Kobayashi), a predecessor of Aoki Village, was a businessman who laid the foundation for the Tokyu Group, and was also an educator who devoted himself to the development of the next generation. While he left his hometown at a young age and became active in a variety of fields, he also maintained a lifelong relationship with his hometown of Shinshu.



## 【困難を乗り越える「なあに」の精神】

東京高等師範学校時代、校長の嘉納治五郎(講道館柔道の創設者)が繰り返し伝えたこの教えを、慶太は生涯忘れることなく、数々の苦難をいつも「なあに」の精神で乗り越えた。

## 五島慶太未来創造館

五島慶太の故郷で偉大な軌跡を振り返るとともに、山村から実業界に大きくはばいた先人の想いを、これからの時代を生きる人々につなげていくための施設です。



### 【ふるさと・家族への想い】



小林家の人々



五島家の人々

### 【青木村が育んだ小林慶太】



青木尋常小学校卒業証書

### 【事業家・教育者・文化人 五島慶太の歩み】



慶太が築いた東急沿線の街をイメージしたNゲージジオラマ

### 【五島慶太の想いを未来へ】



渋谷の街並み (写真：東急株 提供)



亜細亜大学武蔵野キャンパス

五島慶太生誕の地

## 【車輪モニュメント「Railhead」】

世田谷線で使われた80形、東横線などで使われた3000系のスポーク車輪です。(東急電鉄寄贈)

五島慶太未来創造館のエントランスでは、ふるさと青木村の風景の前で30代の慶太が笑顔で出迎えてくれます。



企画展 発見!青木村にナウマンゾウ!?



企画展 渋沢栄一と五島慶太

鉄道院時代 (大正2年)

## 村内ゆかりの地

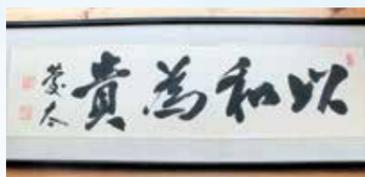
### 上田温泉電軌青木線 青木駅跡 (現 青木バスターミナル)



上田市から青木村へ向かう国道143号上にはかつて路面電車—上田温泉電軌青木線—が走っていて、現在の青木バスターミナルに終点の青木駅があったと思われます。この鉄道の設立に慶太は大きく関わりました。地域の大きな期待の下に鉄道の敷設(ふせつ)運動が起き、大正9年1月に上田温泉軌道を設立、同年11月に上田温泉電軌に社名を改めます。鉄道院総務課で企業の鉄道設置を指導・監督する仕事を担当していた慶太は、技師の派遣や企業計画にあたり「実に熱意ある指導」を尽くしました。

フォト：かつての青木駅

### 殿戸区公民館・五島慶太胸像



五島慶太直筆の書



慶太の胸像

青木村殿戸に位置する殿戸区公民館の敷地内には慶太の胸像があります。慶太は亡くなる前年の昭和33年(1958)、故郷の殿戸区に公民館を寄付しました。その際に慶太から寄贈されたものの中には「和を以て貴しと為す」の直筆の書や、ふるさとのことを詠った漢詩等もあり、現在は五島慶太未来創造館で展示しています。

### ますや旅館

東京高等師範学校(現筑波大学)へ入学した慶太は夏休みには必ず実家へ帰省しました。その際に青木村内の田沢温泉「ますや旅館」に、学生仲間と泊まり、勉強や議論、時には腕相撲などをして過ごしました。ますや旅館は国の登録有形文化財に指定されています。



### 五島慶太翁記念公園



昭和56年(1981)8月に整備された公園内には、慶太の長男 五島昇氏により頌徳碑が建立されました。緑豊かな公園内では、四季折々の美しい樹木や花の姿をみることが出来ます。

未来を見据え 都市を拓き 人を育てた

# 「慶太イズムと渋谷のまち・五島慶太未来創造館・青木村へのエール」

お客様にとって何が一番大切か  
常にお客様の視点から



## 東急グループ代表 野本 弘文 会長

野本 弘文 (のもと ひろふみ)  
1947年福岡県生まれ  
1971年に東京急行電鉄に入社  
東急グループ代表  
東急株式会社 代表取締役会長  
東京商工会議所副会頭  
日本商工会議所特別顧問  
日本民営鉄道協会会長  
日本小売業協会会長 など

青木村出身の五島慶太氏が東急グループの創業者とお聞きしています。創業者の精神や思想をもとに、今日までどのようにしてこの渋谷のまちを発展させてこられたのでしょうか。

野本会長 —

今から100年以上前のお話になりますね。当時鉄道院に勤めていた若き慶太氏は、渋谷から横浜まで鉄道を敷く会社の実質的な責任者(常務)として入社されて、どうやって線路を引くか考えた結果、まずまちづくりを行い、その利便施設として線路を引いたわけです。その時から、お客様にとって何が一番大切であるのか、常にお客様の視点から事業を考え、渋谷のまちづくりも行ってきました。当時渋谷には、渋谷川という川があって、渋谷のまちは2つに分断されていま

した。その渋谷川にフタをかけて、分断を解消し、訪れるみなさまが便利に、そしてできるだけ長く渋谷に滞在いただけるか、考え実行してきた積み重ねの結果が、今の渋谷のまちということです。

それが慶太イズムとでもいいますか、お客様を囲い込むという考えではなく、お客様がどうしたいのか、常にオープンな視点で、事業を考え立案し実行してきました。その慶太翁のまちづくりが、東急グループのまちづくりとして、現在の渋谷の“カタチ”となっています。例えば、どのビルの間もオープンにつながり、互いに簡単に行き来できるようになっています。そういう慶太イズムを踏襲しているわけですが、それを受け継ぎ、守ることが東急グループにとって一番大切ではないかと考えています。

東急電鉄2020系電車車両  
(写真：東急(株) 提供)



青木村の先人・五島慶太 — その軌跡を未来へ —  
東急グループ代表 野本弘文会長にお聞きしました  
(2022年2月4日 セルリアンタワー東急ホテルにて：東京都渋谷区)

みなさまが求めているもの。それを“カタチ”にしていくことがまちづくり、地域づくりである

2020年4月、青木村に、慶太翁の功績を振り返り、人材育成の拠点施設である、「五島慶太未来創造館」ができました。

野本会長 —

2018年8月14日に、落雷により殿戸地区の生家が焼失した知らせを聞き、大変ショックを受け、それが慶太翁の命日だとお聞きして、一層驚きました。翁からの何かのお告げではないかと思うほどでした。改めて今一度、東急グループの創業者である慶太翁に向き合うことを求められていると感じ、「これからも東急グループをしっかりしろ。」と言われた気がしました。ちょうどその時、青木村の北村村長さんから、慶太翁を顕彰する施設を作りたいというお話をいただき、是非ともお手伝いをさせていただきたいとお話しました。慶太翁を顕彰する施設ができるということは、東急にとっても非常にありがたいことだと思っております。

青木村の65周年に向けてエールを

野本会長 —

先日、慶太翁がちょうど通学していたであろう、当郷



(奥のビルは、2019年11月開業の渋谷スクランブルスクエア)

岡石地区に新設される竹内製作所様の新工場の起工式にお招きいただきました。青木村に、世界に向けた素晴らしい工場ができるものと期待しております。村民のみなさまが何を求めているか、それを“カタチ”にしていく。このことが、まちづくりであり、地域づくりであると考えます。

慶太翁の縁がありまして、青木村と東急は関係性を持つことができました。五島慶太翁の出身地である青木村は、東急の原点であり、ふるさとでもあります。青木村の発展は、私ども東急グループにとっても大きな喜びです。

誰にもふるさとがあるということは、とても喜ばしいことでもあります。我がふるさとである、青木村が65周年という節目を迎えられることは誠にめでたいことであり、更に発展されることを心から願っております。東急グループも今年100周年を迎えます。お互いに更なる成長を目指して前進できるよう、頑張っていきたいと思います。



東横線5000系 (写真：東急(株) 提供)

SHIBUYA109 (写真：東急(株) 提供)

# 岡石工業地

industrial site

## 地域に根づいた産業の育成

第6次青木村長期振興計画(令和4年度から令和13年度)において、村づくり重点プロジェクトとして掲げられている「産業を育む村づくりプロジェクト」は、工業をはじめ商業・農業など地域に根付いた産業の育成を進めるものです。当郷地区に岡石工業地を整備し、東証一部上場企業である、本社を坂城町に置く株式会社竹内製作所の新工場の建設が進められています。企業の誘致は、地域に大きな雇用を創出し、地域経済の活性化につながります。村民や村の財政基盤の安定を図るため他の産業とバランスを取る中で事業を進めてまいります。

The "Village Development Project for Fostering Industries" is a priority project in the 6th Aoki Village Long-term Development Plan (FY2022-FY2031), which promotes the development of industries rooted in the community, such as industry, commerce, and agriculture. The Okaishi Industrial Site has been developed in the Togo district, and a new factory of Takeuchi Manufacturing, a company listed on the first section of the Tokyo Stock Exchange and headquartered in Sakaki Town, is under construction. Attracting companies to the area will create significant employment in the region and revitalize the local economy. We will proceed with the project while maintaining a balance with other industries in order to stabilize the financial base of the village and its residents.



株式会社 竹内製作所



2021年11月末に整備事業工事が竣工



「青木村当郷地区岡石工業地整備事業」竣工式  
(R3年12月16日)記念集合写真



御礼の挨拶  
(北村政夫村長)



新工場起工式  
(竹内明雄会長)

### interview



竹内製作所の建設機械  
(油圧ショベル)

株式会社 竹内製作所  
竹内 敏也 社長

1985年4月 株式会社竹内製作所入社  
2004年5月 同社取締役工場長  
2008年5月 同社取締役副社長  
2019年5月 同社代表取締役社長(現在)



青木村へ工場進出を決めた理由がありましたら、教えてください。  
青木村の地域としての魅力など。

新工場建設のご相談を差し上げたところ、北村村長は先頭に立って計画を推進すると力強く応じてくださいました。関係機関への各種申請や許可手続、地権者や近隣住民の皆様への説明、広大な事業用地の造成工事を考えると、当社の要望はスケジュール的に大変厳しい条件でしたが、最大限の努力で取り組むと言ってくれたことが、青木工場プロジェクトのスタートでした。

当社が新工場を建設し、生産活動を持続的に進めていくためには、地域の皆様との良好な関係構築が不可欠です。プロジェクトの立ち上げ段階から、北村村長をはじめ役場の皆様と深い信頼関係を築けたり、当社が進出することをご承知のうえで地権者の皆様へ用地をご提供いただけたこと、青木村の皆様が当社を歓迎くださっていると感じられたことも、大きな決め手となりました。

加えて、青木峠バイパス工事が計画されており、新工場への人とモノのアクセスが改善されることも明るい材料でした。

コロナ禍で厳しい状況が続きますが、この状況を乗り切るための、御社独自の取組や企業としてのポリシーなどありましたら教えてください。

この度のコロナ禍を含め、世界経済や為替相場などの事業環境の先行きが不確実で不透明な今だからこそ、以下の企業理念を心にとどめ、失敗を恐れることなく、全社一丸となって、変革に挑んでいきたいと考えています。

#### 【企業理念】

- ◆ 私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し TAKEUCHI のものづくりを追求します。
- ◆ グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
- ◆ 一人ひとりがかつた力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

詳しくは、以下をご参照ください。  
竹内製作所ウェブサイト「私たちの理念」  
<https://www.takeuchi-mfg.co.jp/company/philosophy.php>



青木工場イメージ図

今だからこそ、一丸となって変革に挑む

# 村のイベント

## 活力ある季節の賑わい

毎年恒例の青木村夏まつりは、村民が楽しみにしている花火大会や、東京農大名物「大根踊り」を披露して盛り上がる。産業祭・タチアカネ新そばまつりは、村内の商工農林業者・団体のPRや販売に加え、姉妹都市静岡県長泉町、埼玉県三芳町商工会や災害時相互援助協定先の新潟県弥彦村などの特産品を買い求めるお客様で賑わい、豊作への感謝と新そばタチアカネを振る舞う最大のイベントである。

The annual Aoki Village Summer Festival is a lively event with a fireworks display that the villagers look forward to, and the Tokyo University of Agriculture's famous "Daikon Odori" dance. The industrial festival, Tachiakane New Soba Festival, is the biggest event in the village, where in addition to the promotion and sales of the village's commerce, industry, agriculture, and forestry businesses and organizations, visitors come to buy specialties from sister cities Nagaizumi Town in Shizuoka Prefecture, Miyoshi Town in Saitama Prefecture, and Yahiko Village in Niigata Prefecture, which is a recipient of a mutual disaster assistance agreement.



### 青木村産業祭&タチアカネ新そばまつり

ふるさと公園あおきにて「青木村産業祭」と「タチアカネ新そばまつり」が開催。村内外より約3,000人の方々が来場します。姉妹都市の静岡県長泉町や、埼玉県三芳町商工会をはじめとする村内外の団体にご出展いただき、各ブースはたくさんのお客様で賑わいます。



### 【夏まつり 大花火大会】

夏まつりのフィナーレは大花火大会が行われます。村内外約300社・団体様からのご寄附で約800発の花火が夏の夜空を美しく彩ります。



events



### 夏まつり

出発式が行われると踊り連、子ども神輿連、大人神輿連が賑やかに役場駐車場から運動公園まで練り歩きます。東京農業大学ゼミ学生の参加もあり、有名な「大根踊り」を披露して踊り連・神輿連の士気を高めてくれます。総合グラウンド特設会場でのアトラクションはダンス・小学校金管バンド・中学校吹奏楽部・義民太鼓と津軽三味線、日本横笛によるコラボステージ・パフォーマンスショーなど大いに盛り上がります。

### 【踊り連・大人神輿・子供神輿】

青木村夏まつりは元気いっぱいに練り歩く。



# つくり育て、実を結ぶ

# 農業



農林業を青木村の基幹産業と捉え、オリジナルブランドそば「タチアカネ」や青木村産ワイン、松茸をはじめとするキノコ・山菜など、特色ある農林産物を活かしながら、農林業の六次産業化を推進して次世代の担い手を確保し育成を進めます。また、地域資源を最大限に活かしながら、広域的、多様な連携を推進し新規産業の創出や企業の支援、企業誘致などにより、新たな雇用の創出を図ります。

Aoki Village regards agriculture and forestry as its core industry, and promotes the sixth industrialization of agriculture and forestry to secure and foster the next generation of bearers, while taking advantage of its unique agricultural and forestry products, such as its original brand of soba noodles "Tachiakane", Aoki Village wine, mushrooms and wild vegetables including matsutake mushrooms, etc. In addition, while making the most of local resources, we will create new employment by promoting wide-area and diverse cooperation, creating new industries, supporting businesses, and attracting businesses to Aoki Village.



左上:りんご  
右上:マツタケ  
左下:ワインぶどう  
右下:みそづくり

### 【農園の山羊】

農家民宿にも取り組み、家族ぐるみで東京農大生を受け入れている農家も多数。青木村で「農家の理想の姿」を追い求め魅力アップを実践しています。



### 【タチアカネ GO!!(号)】

信州・青木村オリジナルブランド蕎麦「タチアカネ蕎麦」の美味しさを多くの皆さんへPRするためのキッチンカー「タチアカネGO!!(号)」。2トントラックを改造し、水道・ガス釜・シンク・冷蔵庫・エアコンなど完備。自車完結で約100食の蕎麦の提供ができ、通常はタチアカネ蕎麦・観光PR車として全国へ青木村の良さを発信するほか、災害時には移動式炊き出し車として温かい食事の提供ができます。

### タチアカネそばの白い花と赤い実

生態型、収量は信濃1号と同等の中間秋型品種。耐倒伏性に優れています。また、ゆで麺色の評価と千粒重、容積重が信濃1号より高いです。乳熟期の果皮色が赤くなる個体が多く、9月中旬～下旬頃の青木村のそば畑は、白い花と赤い実のコントラストが美しく青木の新しい風物詩として定着しています。

## interview



米農家 西沢靖行さん



### 農業に取り組まれた訳は

小さい頃から親がキノコ栽培と米作りをしていたので、昔から農業への関心は強かったです。9年ほど自動車整備士をしていましたが、父から「後継者がいないなら辞める」と聞いて、大きくやっているのに勿体無いと思い継ぐ決断をしました。いざ始めてみると、辛いことは沢山あるが楽しいことの方が多いです。もっと早くから農業を始めればよかったし、もっと勉強しておくべきでした。今は取り返すべく日々勉強中です。

### 今農業で一番力を入れていること、いま抱えている問題は

食味であったり、味をどのように良くしていくかはいつも話し合っています。農業をなるべく減らした米作りにも力を入れています。近年、米の単価が安くなってきているので、大変困っています。水稲だけでなく蕎麦、小麦の栽培もしていますが、やはり単価は安いです。現在の青木村の水稲農家では自分が一番若く、高齢の農家さんがほとんどです。先輩方が農業を辞めてしまった後、青木村の水田をどのように活用していくかという問題があります。

### それを解決するため、今後どんな取り組みをしていきますか

作物の単価の低下に関しては、水稲栽培で空いた時間に他の作物を作るという考えもあります。できれば水稲栽培のみでやっていきたいです。というのも、昨年YouTubeを始めとしたSNSの活用で白米を高額で販売しているケースもあるので、水稲栽培には可能性があると思っています。その為に、「青木村産コシヒカリ」・「青木村産風さやか」の高級ブランド化や、SNSを使った販売などに取り組んでいきたいと思っています。

農家の減少に関しては、若い世代で青木村で農業をしたいという人を誘致したり、自分自身が規模を拡大し、施設を大きくして、青木村の雇用増加にも一役買いたいと思っています。自動運転やIoTなどにも力を入れて効率よく、且つ良い作物を作れればと思っています。

### 青木村の将来像(こんな村になってほしい)

別に人口が増えてほしいとか、でっかいショッピングモールができて欲しいとかは考えていません。ただ、いま青木村に足りないのは若者だと思います。若者が帰ってきたくる村になって欲しいと思います。若者が青木村で農業しやすい環境や、IT系など都心に住まなくても仕事ができる人が必要だと思っています。住みやすい、住みたくる村になって欲しいです。



### 【青木小学校生徒 農業体験】

5学年は「米作り」の学習。地域の皆さんの協力で、生まれ育った青木村の魅力をたくさん感じることが出来ます。

### 【省力機械化・安定供給・品質維持の基 農作業受託組織】

土地利用型農業はコスト軽減と適期作業による品質の維持が課題。村内で大規模に受託作業を行っている組織は、青木村機械作業受託組合と大規模農家2戸である。農業者の少子高齢化の進展に伴い、青木村農業の担い手として、米作りをはじめ特産蕎麦タチアカネ等の生産母体として重要な役割を果たしています。

# SNSを活用し、ブランド水稲の可能性を

# 産業

industry



## 青木村地域消費券

地域経済の活性化のため、地域の小売店などで広く利用できる、地域消費券の発行を推進しています。コロナ禍で落ち込んでいる地域の経済の下支えをしています。

## 地域経済の活性化と雇用の創出

農業・商業・工業・観光の各分野、さらには各分野で連携して、青木村の地域資源を活かしてこれまでの産業を発展させ、また新しい産業を育み、環境や景観に配慮して、地域の活力となる雇用の創出を進めてまいります。

We will work together in the fields of agriculture, commerce, industry, and tourism, as well as in other fields, to utilize Aoki Village's local resources to develop existing industries as well as to nurture new ones, and to create jobs that will energize the community in consideration of the environment and landscape.



### 青木村企業の工業製品

青木村の企業は、優秀な技術を持ち、様々な製品の製造に取り組んでいます。その製品の販路を拡大するとともに、技術を継承する若いエンジニアの育成を進めています。



### 国際貢献

商工会や村内企業が連携して製造した、太陽光と小水力発電を組み合わせた、ハイブリッド発電システム「ミライズあおき」が、ラオス人民民主共和国のシェンクワン県に寄附されました。青木村の技術力が国際貢献というかたちで、世界に発信されています。



### 青木村商工会の活動

青木村は、地域経済の中心的役割を担い地域の発展に大きな貢献をしています。また経済面だけでなく、防災や地域の活性化等、村づくりの推進力となっています。

## interview



【事業内容】  
測定顕微鏡の製造・販売  
理化学器械の製造・販売  
金属加工全般

【沿革】  
平成28年4月 ISO9001 認証取得  
令和2年4月 青木村当郷2へ工場移転  
令和4年4月 青木村当郷2へ工場増築

株式会社 日本光器製作所  
代表取締役 小泉 澄生さん

# 将来を見据えた雇用と社会貢献

### 会社のモットーは

昭和45年4月創業、精密加工に特化した事業を展開し2019年創業50周年を迎えました。この間、モノづくりの環境は大きく変化してきましたが、長年培ってきた経験と技術を活かし、先人の思いが沢山詰まった会社へと、お客様はじめ周囲の皆様へ成長させていただきました。これからも初心を忘れることなく、お客様の満足を深く追求し、品質の高い製品とサービスの提供を常に心がけてまいります。2020年には本社の移転を行い、気持ちを新たに、常に改善の心を忘れず、当社の長期安定的な成長と発展を遂げることができるよう、従業員一同努力してまいります。



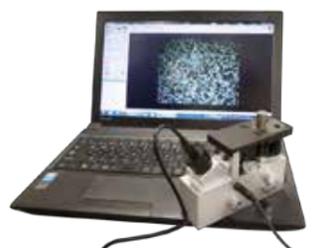
### 今一番力を入れていることは

将来を見据えて設備投資をしっかりと計画的に行っています。また、新製品の開発や製造している製品が専門的なものですので、専門展示会へ出展を行っています。また、やはり大切なものは人材育成と考えています。



### 今後どんな取り組みをしていきますか

地域の雇用の受け皿として、雇用を確保するという地域への社会貢献を考えています。また、採用した社員に対しての雇用した後のスキルアップによりマイスターとしての育成を進めます。また各種助成金の活用や専門知識の収集を進めて活用しています。具体的には、長野県発明協会や、長野県中小企業振興センターに相談等を行う中で、業務を進めています。また販売先である教育市場の情報収集や活用も検討していきます。



### 青木村の将来像

活力があふれる、みんなが「青木村に住みたい、働きたい」と思ってもらえる村になったらと思います。また工業の集積や今計画されている国道143号新バイパス開通による交通の利便性の向上や開通による村全体の発展を望んでいます。

# 創造し知恵と工夫の逸品

special product

# 村の特産品

タチアカネをはじめとするブランドに力を入れ、魅力ある青木村の特産品を創作・カタチにして生み出しています。季節ごとの自然の恵みを求め、全国からお客様が押し寄せてきます。青木村特産蕎麦タチアカネの味と香りは新たな発見と感動を呼びます。

Focusing on brands such as Tachiakane, we create and shape and produce attractive Aoki Village specialties. Customers from all over Japan flock to Aoki Village to enjoy the bounty of nature in each season. The taste and aroma of Aoki Village's specialty buckwheat noodles, Tachiakane, bring new discoveries and excitement.



【道の駅あおき】

国土交通省が地域活性化の拠点として「重点道の駅」に選定したことを契機に生まれ変わった道の駅あおきは、青木村活性化の核となり来訪者の買い物・食事や休憩のスポットとなっている。

春の味覚 山菜がたくさん



秋は旬な果物が並ぶ

## タチアカネ蕎麦

左より タチアカネそば焼酎「たち蕎」、タチアカネそばエール「SOBAYOI」、タチアカネ蕎麦(青木村オリジナルブランド)、青木村のキノコ、焼肉のたれとトマトケチャップ、アオキノコちゃんクッキー、コンバラ(ナツハゼの実)のジャム・ソフトクリーム、タチアカネそば粉を使用した「信州そばへむ」、「Sobaday」(タチアカネそば粉バンケーキ & ガレットミックス)、杜仲茶、梅のまるやかな甘漬け「みかえり漬」、東京農業大学との連携による青木村産「えごま油」



【ファンキー・シャトー】

ブドウ栽培は無農薬、醸造はヨーロッパに伝わる昔ながらの方法でできたワインは凝縮感と深みがあり味わいの奥に秘めた力強さから全国のワイン好きから高い評価。



秋の味覚の王様「松茸」

## interview



株式会社道の駅あおき  
代表取締役社長 若林 崇弘 さん

# 魅力ある新商品開発と 就農者増加を

いま道の駅あおきで一番力を入れていること、課題と考えることは

青木村の特性を活かした、道の駅あおきのオリジナル商品(製品)の開発に力を入れています。

コロナの状況ですのでイベント等が行えない中、どうやってお客様に来ていただくかが課題となっています。春・夏・秋は、地域の山菜・野菜・松茸をはじめとしたキノコなど商品が豊富ですが、どうしても冬期間は販売できるものが限られてしまいます。冬期間お客様にどうやって来ていただくかも大きな課題です。

また、青木村内の生産者(農家)の高齢化が進む中、出荷していただける方をどう確保していくか。また、出荷者を増やし魅力ある農産物を提供することが課題です。

それを解決するため、今後どのような取り組みをしていきますか

農業分野だけでは解決できない課題ですので、例えば健康づくりで農業を始めていただくとか、他に仕事もちながら出来る農業の形態もあるかと思っています。いろいろな分野の方へアプローチをして、協力いただける体制を整えていきたいです。

更にインターネットや折り込みチラシなどを活用して、遠方の方、近隣の方、両方に道の駅あおきの商品をPRしていきたいと思っています。また、農協や県の農業農村支援センター、役場などと連携して、年間おとして安定して販売できる環境の整備や販売のチャンネルとして若者を中心とした新規就農者の増加に協力して、地域の活性化、地域の振興に貢献できればと考えています。

青木村の将来像について

大企業の青木村進出、国道143号青木峠新バイパスの開通など、今後も明るい話題がたくさん出てくる村であって欲しいです。先輩・先人が大切に残してきた歴史・文化を継承して、いつまでも自然豊かな青木村であって欲しいと願っています。



# 医療・介護・福祉

medical care  
Long-term care  
welfare

## 笑顔でいきいき暮らせる村づくり

「日本一住みつづきたい村」として魅力を高めるため、地域医療体制を強化し、いざというときの安心を確保するとともに、日々の健康管理や保持増進活動を普及させ健康寿命の引き上げ、村の活力向上を図ります。

In order to increase the attractiveness of the village as "Japan's most desirable village to live in," the local medical system will be strengthened to ensure peace of mind in case of emergencies, and daily health management and maintenance/promotion activities will be promoted to raise healthy life expectancy and improve the vitality of the village.



### 介護予防教室

高齢者クラブや地域の支え合いの会等の集まりの場へ地域包括支援センター職員とレクリエーション指導員が伺い、軽体操やレクリエーションを行います。イスに座ってできる体操や認知症のお話の他、地区で企画されたイベントや昼食会等盛りだくさんの内容で、交流を楽しみます。

### 各種健(検)診事業

村では、村民のみなさまが健康に日々をお送りいただくために、様々な健(検)診事業を行っています。様々な年齢にあわせて必要な健(検)診を受診いただき、現在の健康の状況から必要な治療や生活習慣の改善につなげていきます。



### 食生活改善推進協議会

食生活改善推進員(通称:食改さん、ヘルスメイト)は、「私達の健康は私達の手で〜のぼそ健康寿命 つなごう郷土の食〜」をスローガンに、食を通じた健康づくりの活動を行っているボランティア団体です。食に関する研修会や調理実習を通して、食の大切さを学んでいます。



### 減塩教室

減塩教室では、尿中ナトリウム測定(1日の食塩の摂取量がわかります。)や血圧や栄養成分の見方の勉強会、減塩の具体的な料理方法が学べます。今後もさまざまな疾患について学べる教室を開催する予定です。

## interview



青木診療所  
所長 小川原秀太郎先生

# 健康寿命の延長と良質な医療提供を

### 青木村診療所に勤務された経過は

もともと私は、信州大学の消化器内科医として勤務しておりましたが、青木診療所前所長の小川原辰雄先生がご逝去されたため、2019年2月より診療を引き継いでおります。

小川原辰雄先生は、私の大叔父にあたり、先生が体調を崩された際に、親族である私のところにお話があり、このままでは青木村が無医村になってしまう危惧から引き継ぐこととなりました。



レントゲン撮影検査機

### 一番力を入れていること、また今抱えている課題は

地域医療を担うため、あらゆる内科疾患の診療や高齢者をはじめとした、健康相談を行うようにしております。また、将来脳卒中や心筋梗塞などの原因になる動脈硬化を予防するため、特に高血圧や糖尿病などの生活習慣病の治療を徹底しています。そして現在抱えている課題は、癌の早期発見です。



超音波検査機

### 課題に向け、取り組みや考えを聞かせてください

癌を早期に発見するため、村民が検診や人間ドックを受けているか、現在のどの医療機関でどんな治療をしているかなど、ひとりひとりの情報を集約して、その状況にあった血液検査・超音波検査・レントゲン検査、大腸や肺検診などによる精密検査を行い、早期発見できるよう総合的な診察が行える体制を整えていきたいと考えています。



バリアフリー環境を整備

### 青木村の将来像について

健康診断など、受診をされていない方、生活習慣病があるのに放置している方が、まだまだ多くいらっしゃいます。健康の意識が向上して、健康に関する活動に積極的に参加されていく、その中で、健康寿命の延長と平穏で充実した人生を多くの村民の方が実現できる、元気な村になっていければと思います。



**【青木小学校生徒 農業体験】**  
田植えでは苗の持ち方や植える深さ、稲刈りでは稲刈り鎌の扱い方や刈り取った稲の束ね方、脱穀では脱穀機への稲の置き方などを体験し、多くのことを学びます。

# 教育

education

## 未来を担う あおきっ子

子どもたちの餅つき  
大節分祭に合わせて保育園児や小学生の餅つき体験が行われ、つきたてのお餅が会場の皆さんに振る舞われます。



村づくりの原点は人づくり。村内1保育園、1小学校、1中学校における教育の一貫性と家庭・地域社会とが連携して子供たちを育てる全国のモデル。地域の豊かな自然環境や歴史・文化を活かした総合教育環境は、「あおきっ子」たちが、青木村に生まれ育ったことを誇りに思う郷土愛を醸成する基となっています。

The starting point of village development is human resource development. Aoki Village is a model for the rest of Japan of consistent education in one nursery school, one elementary school, and one junior high school in the village, as well as cooperation between families and local communities to nurture children. The comprehensive educational environment that takes advantage of the rich natural environment, history, and culture of the region is the basis for fostering a love of hometown that makes the "Aokikko" proud to have been born and raised in Aoki Village.



信州昆虫資料館にて

### 昆虫採集と標本づくり

自ら採集した昆虫を標本にするという貴重な体験を通して、昆虫が生きる環境や身体の構造等を知るだけでなく、「全ての命を大切に思うこと」「自然を守っていくことの大切さ」などを、改めて深く考えます。



### 長野大学自治体地域実習

長野大学社会福祉学部学生の社会福祉基礎実習。青木村についての村長の講話や教育長による青木村の教育についての講話、福祉についての講義などの事前学習をした後、実際の福祉の現場で貴重な体験をします。



### 中学校こまゆみ祭

秋の恒例行事として、中学校こまゆみ祭が行われます。生徒たちが中心となって、先生や地域の方々が協力して創りあげる素晴らしい文化祭です。

【みんなで気持ちよく、水あそび】  
新しいプールが届いた青木保育園のプール開き。



## 充実した 子育て 環境

**あおきっ子教育ポイント 5か条**

親子で話そう ふれあおう  
ほら きらり輝く良さがある  
その子らしさが きっとある

**第1条 一日のスタート**  
早寝 早起き 朝ごはん 元気に歩いて学校へ  
睡眠は成長を 朝食は午前中の勉強を左右します 歩けば体力のある子に

**第2条 あいさつ**  
思い切って 言ってみよう  
互いに にっこり いい気分  
「おはよう」から始まる社会力 まずは大人から子どもに声かけを

**第3条 時間の使い方**  
①自ら こつこつ 家庭で学習  
学年×10分以上で3までに 90分超え 決まった時間に決まった場所  
②メディアは ルールを決めて スマートに活用  
テレビ・ゲーム・ネットは 1日90分以内  
親子で情報モラルを学び インターネットの危険から子どもを守る

**第4条 働き学ぶ**  
親子いっしょに お手伝い  
想像がくらむ 読書の時間  
「ありがとう」「うれしい」 その一言で 書くことが喜びに 学ぶことが楽しみに

**第5条 豊かな体験**  
挑戦し 感動し 人とふれあい ともに成長  
自然の中での外遊び 地区中村の行事 スポーツ少年団や部活動

【村の宝あおきっ子は村で育てる  
あおきっ子教育ポイント5か条の取組み】  
心豊かでたくましい子どもの育成「社会力(生きる力)を育てる」

### オンライン学習

オンラインを活用して、安全に学習に取り組んでいます。



### 信大YOU遊未来 川遊び

8月、信大YOU遊未来の学生による小学生向けのイベントが小学校体育館で開催、児童たちが参加し、川遊びの企画で小学校裏の浦野川で思う存分遊びます。休憩時間ではスイカ割りを行い、全員でいただきます。

# 歴史・文化

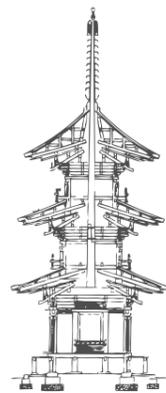
## 長い歴史を刻み現在に

history culture



### 国宝 大法寺三重塔【見返りの塔】

建立は鎌倉時代末期の1333年。初重を大きくした造りは、他に奈良の興福寺三重塔だけときわめて珍しく、安定感があり簡素で落ち着いた雰囲気が山里にとけあつた美しい名塔です。その美しい姿は、旅人が何度も振り返って見たという意から「見返りの塔」と呼ばれ、広く人々に親しまれています。



大法寺三重塔断面図

### 【三重塔初重空間の彩色画】



内法長押(見付)



隅柱

青木村の歴史文化の普遍的な価値を共有し、有形・無形文化財の調査・研究を通じて、保全・継承に努めるとともに、村民の多様な歴史・文化活動の普及・啓発を図り、文化芸術の進行や新たな文化創造につなげます。

Sharing our universal value of history (examination and research of tangible and intangible cultural properties), Aoki village strive for the conservation and succession of our culture. We plan diverse historical and cultural activities to educate people about our unique culture. We hope that this will lead to progress in culture and art that will nurture a new culture.

### 【木造十一面観音立像】

桂材一本造り(木を寄せないで一本の木で造る)の彫眼で像の高さは171cm。お顔はふっくらとしていて古風で気品に満ち、慈悲円満の相をしています。やさしい表情に衣文を刻んだ刀法などから、藤原時代の中頃の作とみられます。(重要文化財)

### 【大般若会】

大般若波羅密多經を転読することにより、無病息災、五穀豊穰、国家安泰など諸々の願いの成就を祈る会であります。特に大法寺では、本尊の十一面観音菩薩様が諸々の願いを叶える諸願成就の観音様であることから、交通安全、商売繁盛、無病息災、恋愛成就、学業成就など、多種多様な願いを祈る場となっております。



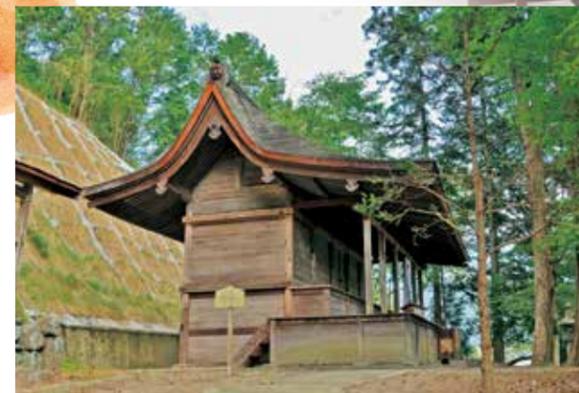
どんと焼き



【2019年アイルランド文化交流事業 アイルランド公演】

### 義民太鼓

江戸時代「夕立と騒動は青木から」と言われるほど何度も農民一揆がおこり、幾多の指導者を輩出しました。死を覚悟で庶民の困窮を救うため、圧政や不正を払いのけるための百姓一揆は正にこの世の華。彼らを義民として称え、義民太鼓が創設されました。



### 県宝 日吉神社

日吉神社は、古くは山王大権現宮と呼ばれ、大山咋命を祀っています。平安時代からこの地方一円は浦野荘と呼ばれ、比叡山麓に鎮座する名社「日吉(ひえ)大社」の社領だった縁でこの地に歓請されたといわれています。建立は室町時代で、「五間社流れ造り」というこの本殿の建築様式は、規模の大きさでは県下に類を見ないものです。平成2年に長野県県宝に指定されました。



### 壁塗り踊り

村内当郷区に伝わる踊りで村の無形民俗文化財。真田昌幸による上田城築城の際の壁塗り普請に、左官の補助として従事した当郷区の若者たちによって始められたと伝えられる。現在まで受け継がれ、村の郷土芸能「馬鹿囃子」に合わせて踊ります。



### 風穴

高い山の麓や谷間にみられる自然的現象で、山腹からの空気が山の中を通り冷風として吹き出しています。冷蔵庫やクーラーがなかったその昔、この冷風を利用して蚕種や食品を貯蔵したもので、先人の知恵をうかがわせます。

### こいど 恋渡神社

名前にちなんで恋の橋渡し・縁結びの神社として密かに人気になっている縁結びスポット。かつて「声渡り」神社と呼ばれ、有事の際に神社の尾根で大声で叫び伝えたこともあったそう。ここでしか手に入らない「婚活お守り」が好評です。



### 沓掛温泉

開湯は平安時代といわれ、近くには県の天然記念物に指定された野生のサトイモが自生する石芋公園があります。弘法大師にサトイモを分けてほしいといわれた老婆がこれは石だと断り、あとで食べようとしたところ本当の石のように固くなっていったと伝えられる石芋伝説が残っています。薬師堂から続く遊歩道には炭焼小屋や風穴があります。また、小倉乃湯(外湯)もあります。

### 田沢温泉

開湯は飛鳥時代後半、まだ若き島崎藤村も滞在し、『千曲川のスケッチ』で紹介しています。「子宝の湯」としても有名。近くには子安地蔵尊がある薬師堂があり、四季を通じての参拝客があります。宿のほかに、共同浴場(外湯)として有乳湯(うちゆ)があります。

# 未来へつなぐ

# 安心・安全・消防・防災

## この村を人を、みんなで守る



行政による防災・減災・縮災対策のみならず、村民ひとりひとりが防災意識を高め、地域防災活動の促進を図るとともに、災害時の自治体間 連携等の体制強化を推進し、防犯や交通安全対策にも力を入れ、生活全体の安全・安心を確保します。

In addition to the disaster prevention, mitigation, and reduction measures taken by the government, each villager will raise awareness of disaster prevention, promote local disaster prevention activities, and strengthen the system of inter-municipal cooperation in times of disaster, as well as focus on crime prevention and traffic safety measures to ensure the safety and security of all aspects of life.

disaster prevention safety



### 【総合防災訓練】

9月の防災週間に合わせて実施される「青木村 総合防災訓練」。様々な場面を想定して、より実践的な訓練を行うこととしています。



### 【消防ポンプ操法大会】

消防ポンプ操法大会は消火技術の習得と練度向上を図る重要な訓練の発表の場です。小学生で構成される「あおきっ子消防団」との交流の場ともなっています。

### 交通安全運動

上田交通安全協会青木部会を中心に地区役員、安全協会、協力団体、上田警察署など多くの協力で歩行者街頭指導、運転手啓発活動。



### 避難所用品設置訓練

村で整備した避難所用品(テント・ベッド)を実際に設置し、各公民館での使用をイメージしながら訓練を行う。



### 新型コロナウイルスワクチン接種

関係団体等と連携し、希望する方にいち早く接種できる環境を備えています。



# 家族、地域のつながり



### 地区防災マップの作成

村内全域のハザードマップに加え、各地区ごとに防災マップを作成しています。具体的な危険箇所や避難経路を確認することで、より身近な災害対策に役立てることができます。



### 電気自動車の導入

役場の公用車の一部を電気自動車に置き換えています。脱炭素に貢献するとともに、非常時の移動可能な電源としての利用も想定しています。



土砂、地すべり、洪水の各ハザードマップ



### 消防出初式

新春恒例の「青木村消防出初式」。青木小学校前から文化会館までの消防行進、観覧に続き文化会館で式典を執り行い、伝統ある消防団の発展を誓う。



### 小諸市・青木村「災害時相互支援等に関する協定」調印式

災害発生時に応急対策、復旧対策が円滑に遂行されるよう、物資の供給のほか被災者の受け入れや職員派遣など、小諸市・青木村の両自治体が相互に支援するというもの。当村の協定締結は静岡県長泉町、新潟県弥彦村、埼玉県久喜市に次いで4団体目となります。



# 行政

## 健やかで幸福な 日々のため

administration

村民ニーズが多様化する中、村民一人一人が豊かさを実感できる村づくりを目指し、青木村に誇りを持ち、活力ある村づくりを進めます。また、村民ニーズに対応するため、長期的な視野に立ち計画的な行財政運営を図っています。

As the needs of the villagers diversify, we aim to create a village in which each and every villager can experience affluence, take pride in Aoki Village, and promote the creation of a vibrant village. In addition, in order to respond to the needs of the villagers, we are striving for systematic administrative and financial management from a long-term perspective.



# 議会

## 開かれた 信頼される議会

parliament

地方分権が進み、地方公共団体の自己決定権、自己責任が拡大する中、議会活動や議会運営に関する基本的事項を定めた「青木村議会基本条例」を平成24年に制定し、この理念に則って活発な議会活動が行われています。

As decentralization of power progresses and the right of local governments to self-determination and self-responsibility expands, the Aoki Village Council Basic Ordinance was enacted in 2012 to set forth basic matters concerning council activities and council operations, and council activities are actively conducted in accordance with these principles.



【10名の議会議員】  
議会議員選挙により選ばれた各議員が、4年間をより良い村づくりのため活動していく。



### 青木村議会だより発行

村民に開かれた議会を目指し、議員たちが手づくりの「青木村議会だより」を定例会ごとに発行し、活動内容等を村民の皆さんに分かりやすく伝えることを目標としています。



村の概観



審議の様子

### 議会と語る会(議会報告会・住民懇談会)

村民の皆様の日頃の議会の活動状況を知っていただくため、議会報告会を開催。議員が村民の皆様へ直接、報告・説明し、議会活動や村政に対するご意見やご提言などを伺い、議会審議への活用や今後の議会活動に生かしていく。

「みんなの声」を  
「かたち」にしていく

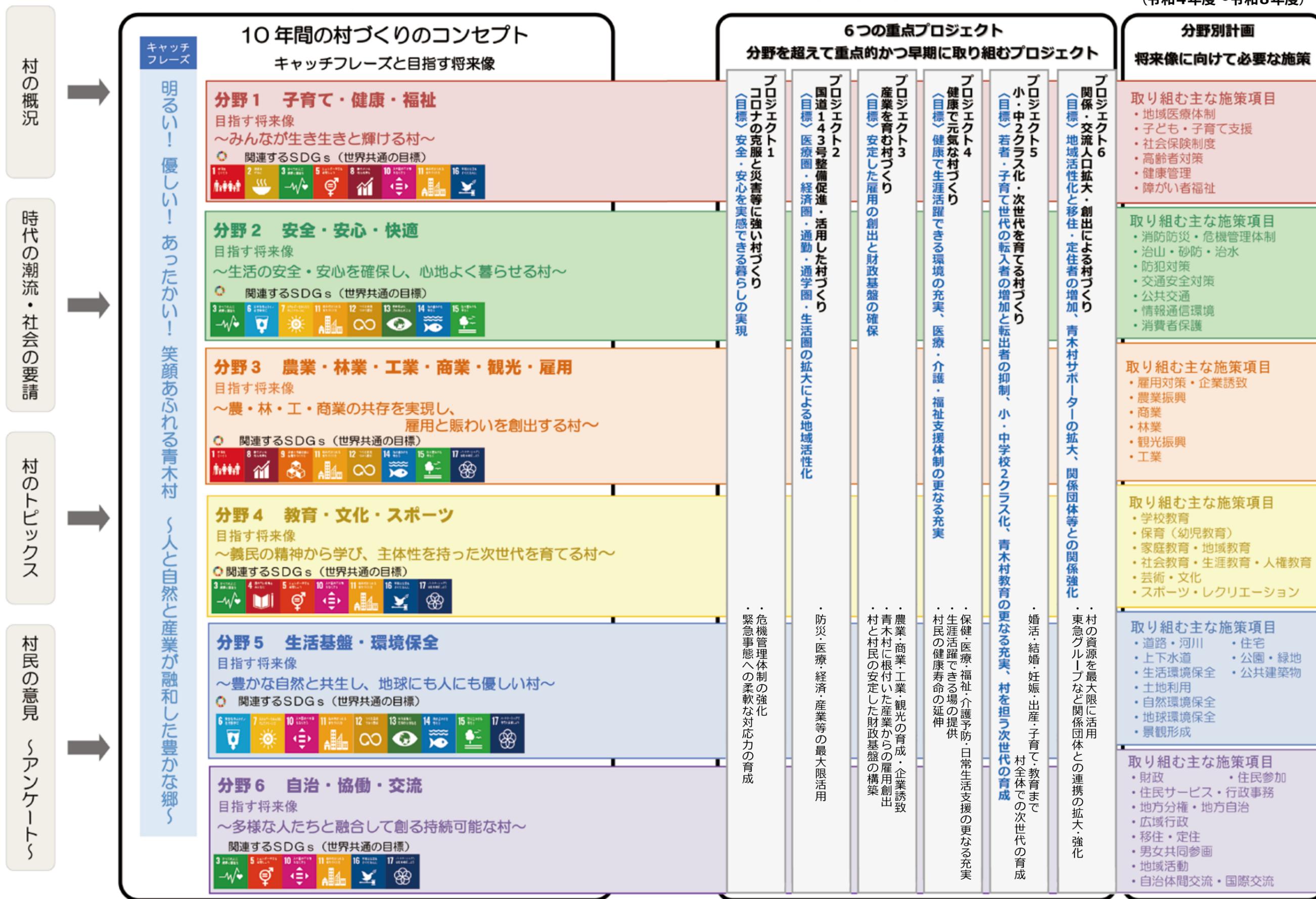
# 第6次青木村長期振興計画 (令和4年度～令和13年度) 体系図

～誰もが住みたくなる・訪れたくなる  
笑顔あふれる村づくりを進めます!～

基本構想 (令和4年度～令和13年度)

第2期総合戦略 (令和4年度～令和8年度)

前期基本計画 (令和4年度～令和8年度)



<b>1957(昭和32)年</b> 青木村と浦里村が合併、新青木村発足(3月31日) 田沢・沓掛温泉のボーリング成功
<b>1958(昭和33)年</b> 殿戸区公民館落成(五島慶太氏寄贈) 台風21号、22号による被害甚大
<b>1959(昭和34)年</b> 青木診療所新築落成 台風7号による被害が甚大。被害総額約9億円。犠牲者4名、水田流出約200ヘクタール
<b>1960(昭和35)年</b> 青木-当郷間バス開通、1日3往復 役場庁舎改築完成
<b>1961(昭和36)年</b> 中学校管理棟、給食室落成/青木-釜房間1日4往復バス開通 青木村老人クラブ結成/明治29年建築の中学校旧校舎取り壊す
<b>1962(昭和37)年</b> 入田沢、入奈良本、下奈良本の3分校を廃し、本校に統合。1校制となる。遠距離児童はバス通学となる/小学校プール完成(北村貞治氏寄贈)/中学校の新体育館、音楽室、工作室落成する
<b>1963(昭和38)年</b> 青木有線放送開局 小学校90周年事業完成
<b>1965(昭和40)年</b> 青木村の総人口5,816人
<b>1966(昭和41)年</b> 入奈良本牧場、放牧開始
<b>1967(昭和42)年</b> 当郷区と合併10周年記念式典行う 小学校特別教室(音楽、家庭、図書館)落成 細谷区公民館落成
<b>1968(昭和43)年</b> 第1次農業改善事業、本年度より3ヵ年計画で着手
<b>1969(昭和44)年</b> 青木郵便局舎新築落成
<b>1970(昭和45)年</b> 青木村老人福祉センターオープン 村営診療所を閉鎖し、小川原辰雄氏が診療所を開業する 有線放送自動化完成/夫神区公民館完成
<b>1971(昭和46)年</b> 第2次農業改善事業、4ヵ年計画で着手(南部地区)
<b>1972(昭和47)年</b> 青木村総合グラウンド完成 広域消防川西庁舎完成
<b>1973(昭和48)年</b> 青木村福祉会館竣工 青木小学校100周年記念事業記念式典を行う
<b>1974(昭和49)年</b> 公民館報にかえて「広報あおき」創刊 滝川砂防ダム工事起工(8月28日)
<b>1975(昭和50)年</b> 夫神地区に義民の墓参拝道路、案内板などできる/青木村第2次農業改善事業、4ヵ年計画にて着工(東部地区)/ライスセンター完成/中村区横手地区に農協福祉保養センター「あおき」オープン
<b>1976(昭和51)年</b> 青木村歌制定(常盤のみどり)/高齢者(70歳以上)にバス無料優待券配布/滝川砂防ダム定礎式(5月19日)/「青木音頭」発表会/青木中学校30周年記念事業行。青木中学校・小学校ともに新校歌できる/原池公民館竣工
<b>1977(昭和52)年</b> 青木村奨学金条例できる
<b>1978(昭和53)年</b> 水田利用再編対策実施、目標43ヘクタール 滝川砂防ダム竣工式(5月8日) 青木村運動公園オープン
<b>1979(昭和54)年</b> 入奈良本生活改善センター竣工

<b>1980(昭和55)年</b> 青木村「村民憲章」制定される 村の総合体育館竣工 中学校プール完成、普通教室棟改築竣工
<b>1981(昭和56)年</b> 村民の流水プール完成 台風15号被害 青木区に生活改善センター完成
<b>1982(昭和57)年</b> 運動公園に夜間照明施設完成/青木時報縮刷版発行 台風10号、18号被害 青木村義民祭盛大に挙行。義民太鼓も創設発表する
<b>1983(昭和58)年</b> 当郷区公民館新築落成(北村貞治氏寄贈) 農村環境改善センター竣工 青木小学校改築工事竣工(12月末)
<b>1984(昭和59)年</b> 弘法線にバス運行/老人センター前にゲートボール場できる 国道143号青木-原池間改修工事完了/村議会議員2名減、16名となる 国宝大法寺三重塔、屋根葺替工事完成する
<b>1985(昭和60)年</b> 村営バス村内全線に運行を始める
<b>1986(昭和61)年</b> 合併30周年記念式典(10月26日)
<b>1987(昭和62)年</b> 村松地区にアイリス栽培
<b>1988(昭和63)年</b> 商工会館、バスターミナル竣工 屋内ゲートボール場竣工
<b>1989(平成元)年</b> ふるさと創生村づくり こまゆひ団地造成、販売
<b>1990(平成2)年</b> リフレッシュパークあおきオープン/高齢者デイホーム竣工/日吉神社泉指定 国道143号100周年記念/下奈良本豊科線全面舗装/「青木の森」別荘販売開始
<b>1991(平成3)年</b> 青木村郷土美術館竣工
<b>1992(平成4)年</b> 丸字信州新線(修那羅)改良工事竣工 大法寺新線開通 阿島川砂防工事竣工
<b>1993(平成5)年</b> 宮原毅村長誕生/保育園新園舎完成 麻績インナー供用開始/くつろぎの湯完成 青木小学校開校120周年
<b>1994(平成6)年</b> 青木村誌完成/宮原栄吉氏に名誉村民章贈呈 青木橋架け替え工事完了/有線放送デジタル化
<b>1995(平成7)年</b> 特別養護老人ホーム「ラポートあおき」完成 川西分署新庁舎完成
<b>1996(平成8)年</b> 浄化センター供用開始/アイリスの郷整備事業(道路拡幅、アイリスの館)竣工 沓掛コミュニティセンター竣工/下木戸橋竣工/静岡県長泉町と友好交流覚書調印 第1回全国義民サミット開催
<b>1998(平成10)年</b> 沓掛温泉小倉乃湯オープン 義民の郷ふれあいセンター竣工
<b>1999(平成11)年</b> 横手キャンプ場オープン 役場新庁舎業務スタート
<b>2000(平成12)年</b> 小川原辰雄氏に名誉村民章贈呈 原久保農村コミュニティセンター完成 田沢温泉有乳湯オープン
<b>2001(平成13)年</b> 下奈良地区に女性・若者等活動促進施設完成 第5回オカミサミット本村で開催
<b>2002(平成14)年</b> 消防団へ活動服の導入/中学校改築事業竣工 宮淵橋竣工/市町村合併に関する住民アンケート実施される 義民太鼓創設20周年記念大会開催される

<b>2003(平成15)年</b> 図書館竣工/青木村行政改革大綱制定/細谷橋竣工 村道・山鳥環線開通/自立を目指す青木村宣言村議会で否決 役場庁舎・保健センター ISO14001取得
<b>2004(平成16)年</b> 広報あおき300号発行/児童センター竣工/大法寺第1層内部壁面復元される 消防団の機構改革行われる/ふるさと体験館・農産物直売所オープン ネパール王国ナムチュバザール村と友好都市提携締結
<b>2005(平成17)年</b> スペシャルオリンピックストーチャイベント開催/小学校ランチルーム完成 村長・村議会議員一般選挙、宮原毅氏無投票で4選 あおきっ子合宿(通学合宿)はじまる
<b>2006(平成18)年</b> 合併50周年記念式典行われる/道の駅あおき開設 第10回全国義民サミット青木村で開催 7月18日~19日梅雨前線による豪雨被害
<b>2007(平成19)年</b> 静岡県駿東郡長泉町との姉妹都市提携/4月よりゴミ・資源物の収集方法変更される 信州大学人文学部、長野大学社会福祉学部と連携協力協定締結 保育園に遊び場あおきっ子広場完成
<b>2008(平成20)年</b> 当郷森地区に若者定住促進住宅竣工/義民太鼓こまゆひ会文部科学大臣賞受賞 青木村ふるさと応援寄附金制度スタート/第11回全国義民顕彰集会青木村で開催 総合竣工祝賀祭開催
<b>2009(平成21)年</b> 村長・村議会議員一般選挙、宮原毅氏無投票で5選 殿戸区コミュニティセンター竣工/入奈良本コミュニティ防災センター竣工 村営バス「ふるさと号」運行開始/村道夫神線改良工事竣工
<b>2010(平成22)年</b> 村文化会館耐震工事竣工/信州・青木村ふるさと景観100選 選定される 歴史文化資料館竣工/殿戸資料館竣工/青木村商工会創立50周年記念式典開催 7月2日~3日入田沢地区を中心とした集中豪雨災害発生/国勢調査実施
<b>2011(平成23)年</b> 地域情報通信基盤整備事業竣工/青木村マスコットキャラクター「アオキノコちゃん」誕生 合併55周年記念式典開催/オリジナルブランド「タチアカネ」蕎麦の栽培はじまる
<b>2012(平成24)年</b> 第5次青木村長期振興計画が策定/広報あおき400号発行 義民太鼓保存会30周年記念大会開催/公共施設整備事業完成式典開催
<b>2013(平成25)年</b> 村長・村議会議員一般選挙、村長選20年ぶりの選挙/北村政夫村長誕生 9月16日台風18号による豪雨災害発生 国道143号青木峠新トンネル建設促進村民会議設立
<b>2014(平成26)年</b> 青木村死亡事故ゼロ3,000日達成/2月14日~16日記録的な豪雪 前村長宮原毅氏名誉村民に/千曲バス青木線運賃低減バス運行開始
<b>2015(平成27)年</b> 道の駅あおき国土交通省から重点道の駅として選定/ふるさと公園あおき竣工
<b>2016(平成28)年</b> 宝島社出版の「田舎暮らしの本」第4回日本「住みたい田舎」ベストランキング「村」部門 第1位となる/道の駅あおき株式会社化/新生青木村60周年記念式典開催
<b>2017(平成29)年</b> 村長選挙無投票、村長村議選行われる/道の駅あおき新農産物直売所オープン ふるさと公園あおき、道の駅あおき143号沿いに信号機設置
<b>2018(平成30)年</b> 市之沢浄水場、水道管工事竣工/青木診療所、小川原秀太郎先生診察開始 五島慶太翁生家焼失(8月14日)/タチアカネ蕎麦 キッチンカー「タチアカネGO」導入

## 2019 平成31年/令和元年

- ◆複合発電システム「ミライズあおき」ラオス人民民主主義共和国に  
寄附・設置・運用開始、北村村長ラオス国訪問
- ◆青木村美しい村づくり条例制定
- ◆新年号「令和」スタート。道の駅あおきで記念花火
- ◆青木小中学校へのエアコン設置完了
- ◆義民太鼓保存会こまゆひ会アイルランド公演
- ◆台風19号による災害発生 24時間降水量最大237ミリ



台風19号による災害

## 2020 令和2年

- ◆青木村新型コロナウイルス対策本部設置
- ◆株竹内製作所と青木村の当郷地区岡石工業地整備事業に係る  
立地協定の締結
- ◆新型コロナの影響から保育園・小学校・中学校の給食費を  
令和2~4年度中無料化へ
- ◆五島慶太未来創造館開館
- ◆青木村営バス 日中の時間帯フルデマンドバス運行開始
- ◆広報あおき300号達成
- ◆役場で電気自動車3台導入



五島慶太未来創造館開館

## 2021 令和3年

- ◆村と議会による「気候非常事態宣言」を表明
- ◆村長・村議選行われる 無投票
- ◆コロナワクチン接種スタート
- ◆タチアカネ蕎麦商標登録
- ◆小諸市・青木村災害時相互支援に関する協定調印
- ◆五島慶太未来創造館入場者1万人達成
- ◆タチアカネ蕎麦を使った「Sobaday」発売
- ◆アオキノコちゃん10歳
- ◆当郷地区岡石工業地整備事業竣工



コロナワクチン接種スタート



当郷地区岡石工業地整備事業竣工

## 2022 令和4年

- ◆コロナワクチン接種3回目スタート
- ◆当郷地区岡石工業地工場起工式
- ◆第6次青木村長期振興計画決定
- ◆新生青木村65周年記念式典



第6次青木村長期振興計画



しあわせ信州

明るい! 優しい! あったかい! 笑顔あふれる青木村  
～人と自然と産業が融和した豊かな郷～

## 青木村 村勢要覧

発行：青木村

---

〒386-1601 長野県小県郡青木村大字田沢 111  
TEL0268-49-0111 FAX0268-49-3670  
<http://www.vill.aoki.nagano.jp/>